

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団			
①	指 標 名	健康づくり講座の実施回数		目 標 値	110回
	過 去 の 実 績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 回)	70	170	101	平成27年度の実績には、自主グループ立ち上げ支援の講座76回実施が含まれており、それを除くと94回
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(9) 公益法人改革への対応		
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 事業団の目指す健康なまちづくりの推進を図るため、地域との連携を主体とした健康づくり意識の啓発・普及事業を推進していく。市民の健康づくりに対する関心を高め、取り組むきっかけになるよう、健康づくり推進員や健康づくり人材バンクとともに地域団体等との連携、協力を更に進め、地域の特性に合わせた講座を幅広く実施していく。目標値は平成28年度までの実績を踏まえ設定する。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 地域の特性や要望に沿った健康づくり支援になるよう、コミュニティ協議会等、地域団体の連携による事業を推進する。 ② 共催事業は、「運動・講座による啓発」及び「自主化を目指した運動の継続支援」とに目的を明確化しながら、地域団体等と連携して更に取組みを拡大、充実させていく。 ③ 健康づくり事業・講座に対する認知度をさらに上げるよう、また、健康づくり出前講座については、目標である新規団体増に向けて、有効な周知・PR方法等工夫する。				
②	指 標 名	健診事業収益		目 標 値	60,000千円
	過 去 の 実 績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 千円)	57,767	59,166	58,500	人間ドック受診者数により増減がある
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(1) 経営健全化の確保		
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 自主事業収益の主要な財源は、人間ドック等健診事業収入であり、収支改善・経営の健全化を図る上で、この健診事業収益の確保が重要となることから指標とする。目標値は平成28年度までの実績を踏まえ設定する。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 精度が高く、受診者への配慮の行き届いた安全安心な人間ドックの実施に努め、受診者の健診に対する信頼度をさらに高めていく。 ② 人間ドック受診のメリット等、受診に関する効果的な周知・PRを行い、受診者の確保に努める。 ③ 定期的な健診を促す受診勧奨について工夫して取り組む。				
③	指 標 名	研修への参加者の割合		目 標 値	100%
	過 去 の 実 績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: %)	100	95.7	100	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 限られた職員数で一定の組織目標を達成していくためには、各種研修・市の会議等への参加により、職員1人ひとりの能力・資質・意欲を向上させ人材の育成を図り、最大限に力を引き出しながら、組織力を強化する必要がある。全員参加を目標とする。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 目標を明確にしながら、職員の主体的な研修参加の取り組みを促す。研修で得られた情報を職場全体で共有する。 ② 事業団の研修のみならず、市が実施する研修会、各種検討会議等への参加の機会を人材育成に活用する。 ③ 安全安心に配慮した事業実施の一環として、健康づくり推進員を含め上級救命講習の資格を全員必須とする。定期更新のために必要な再講習を受講する。				